

日本消防



- ラジオ番組「おはよう!ニッポン全国消防団」好評放送中
- 「消防団員確保対策に関するシンポジウム」における「事例発表」



7
2013

□ 絵 第21回全国女性消防操法大会操法指導員研修会
 H25.6.13 (木) ~14 (金) 於 横浜市消防訓練センター
 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！ (財)日本消防協会

巻頭言「地域で信頼され、評価される消防団のために」
 公益財団法人 富山県消防協会 会長 高野 行雄 1

日消の動き「消防団応援の店」 (財)日本消防協会 会長 秋本 敏文 2

「消防団員確保対策に関するシンポジウム」における「事例発表」 (財)日本消防協会 3

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介 (財)日本消防協会 14

活動事例報告 山口県消防操法大会「応急操法」を競う
 -消防団の技術と団結力のさらなる向上を目指して- 和木町消防団 団長 天羽 正人 18

特別表彰「まとい」を受章して「郷土防災のために」 奈良県五條市消防団 団長 櫻井 利文 20

東西南北(福岡)「地域のため、私たちの挑戦！」 福岡市早良消防団 団長 津和崎 允夫 22

東西南北(秋田)「なまはげの里」の消防団 男鹿市消防団 団長 鈴木 清 24

東西南北(滋賀)「安心して暮らせるまち高島のために」 高島市消防団 団長 井川 正一 26

東西南北(徳島)「より魅力ある消防団へ」 勝浦町消防団 団長 生家 道雄 28

シンフォニー(東京都)「世田谷消防団からスタンドパイプを発信」
 世田谷消防団本団 部長 安孫子 淑子 30

「深まる女性消防団員の絆」 結城市消防団 団長 館野 祐二郎
 板橋消防団 団長 田中 盛男 32

消防団協力事業所表示証は、日本消防協会にて販売しています。 (財)日本消防協会 34

花火・火遊びによる火災の防止 総務省 消防庁 予防課 35

台風に対する備え 総務省 消防庁 防災課 36

住民自らによる災害への備え 総務省 消防庁 防災課 38

消防団120年特別企画「大日本消防」表紙絵 (財)日本消防協会 39

少年少女消防クラブフレンドシップ2013 (一財)日本防火・防災協会 40

うちの名物団員 44

消防団の広場(埼玉県)「安心・安全・確実・迅速」な消防団を目指して
 行田市消防団 団長 山岸 敏秀 46

編集後記

表紙写真説明

「福岡タワー」

福岡タワーは平成元年に福岡市制100周年を記念し開催された「アジア太平洋博覧会(よかトピア)」のモニュメントとして建てられました。海浜タワーとしては日本一の高さ全長234mを誇り、8000枚ものハーフミラーで覆われた正三角形の洗練された外観は「ミラーセイル」の愛称で親しまれております。地上123メートルにある最上階の展望室からの眺めは格別で、福岡市街とウォーターフロントを360度のパノラマで一望できます。(福岡市早良区)

第21回全国女性消防操法大会 操法指導員研修会

平成25年6月13日（木）～14日（金） 於 横浜市消防訓練センター



ラジオ番組
「おはよう！ニッポン全国消防団」
好評放送中！
(財)日本消防協会



4月・5月放送分に出演の
赤井英和さん(左)

山本剛士ニッポン放送アナウンサー(右)

6月放送分に出演の
平野啓子さん(左)



7月放送分に出演の
水前寺清子さん(左)



「地域で信頼され、評価される消防団のために」

公益財団法人 富山県消防協会 会長 高野 行雄



このたび、富山県消防協会会長に就任いたしました。副会長在任中は多くの方々からご指導、ご鞭撻を賜りありがとうございました。今回、はからずも会長に推挙され、一段と重い責任に身が引き締まる思いでございます。また、これまで佐伯前会長に賜りましたご指導を引き続き賜りますようお願いいたします。

さて、富山県には、立山黒部アルペンルートや黒部溪谷に代表される豊かで美しい自然、世界遺産五箇山合掌集落や国宝瑞龍寺などの貴重な文化遺産、越中おわら風の盆やむぎや祭などの特色ある伝統芸能、米、ブリなどの新鮮な農産物、魚介類、ますの寿司、チューリップなどの特産品など全国に誇れる魅力があります。

また、日本海側屈指の工業集積やものづくりの伝統に支えられた産業基盤があり、医薬品、ロボット、半導体などの最先端の技術を活かした優れた工業製品も数多くあります。約2年後には北陸新幹線も開業しますが、県民あげて「おもてなしの心」で観光振興に取り組んでおり、安全で安心こそが誘客、もてなしの基本であり防火防災面の安全性を高める体制の整備も必要であります。

本県は、出火率が平成3年から24年まで22年連続で全国最小という輝かしい記録を達成する見込みです。これは、消防関係者をはじめ県民一人ひとりの火災による悲劇を繰り返してはならないとの高い防火意識と地道で粘り強い防火活動の賜であり、この輝かしい記録を次の世代に引き継ぐため、県民一丸と

なって日々火災予防に努め、火災のない安全で安心して暮らせる富山県の実現のため、活動を進めていきたいと決意を新たにしております。

現在、本県には15消防団があり、9,594人（平成24年4月）の消防団員が活動しておりますが、本県においても、団員数の減少や高齢化に加え、会社勤めの団員が増加し、昼間の災害対応力が低下するなど、消防団を取り巻く環境は厳しさを増しており、時代に即した消防団づくりへの取り組みが大きな課題となっております。

こうしたなか、地域で信頼され、評価される消防団となるには、消防団員の資質の向上や次世代消防団員（幼年少年、中学生、高校生など）の育成が重要と考えており、消防職団員の指導・育成や一般県民への防災思想の啓蒙普及を目的として、昨年4月にオープンした「富山県広域消防防災センター」の最新の施設設備を活用した消防団員の基礎教育、幹部教育による資質の向上並びに併設の体験型学習施設「四季防災館」における幼年少年・婦人防火クラブ、自主防災組織など県民に対する各種災害体験を通じた防火防災意識の普及啓発に取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、消防団の重要な使命を再認識し、高い志気のもと、訓練を重ね、より精強な組織づくりに励み、地域住民の期待と信頼に応え、災害の防止と被害の軽減に努力していく所存でございますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「消防団応援の店」

(財)日本消防協会 会長 秋本 敏文

昨年6月号と7月号の本誌に、「消防団の店現地ルポ」を掲載しました。消防団員やその家族が利用すると一定の割引をしたり、消防団のPRポスターを貼り出してくれるなどの協力をしていただける消防団応援の店が始まっている所がありますので、その現地取材の記録を掲載したものです。その時は、山梨県南アルプス市、愛知県瀬戸市、岐阜県関市の紹介をしましたが、まだそんなに多くの市町村でやっておられるとは思っていませんでした。

今年5月22日、消防団員確保対策に関するシンポジウムを開催しましたが、その時、5つの消防団から活動事例を発表して頂きました。そのうち薩摩川内市と松山市では、「消防団応援の店」を実施しておられると聞いていましたので、そのことも含めての発表をしていただくことを想定していたのですが、このほか、静岡県長泉町でもこれを実施しているという報告がありました。これは、申訳なかったのですが、まったく想定していませんでした。既に実施している市町村には様子を見に来ている例が多いとは聞いていたのですが、このように広まっているとは思っていませんでした。このような状況を見ると、もっと多くの市町村でも実施しているとか、今実施に向けて検討しているとかということになっているかもしれないと思わせられました。

そこで、6月25日、日消から全国の消防団に照会させて頂きました。調査のポイントは、既に実施しているか、検討しているかなどの現状と、実施したり、検討したりしている場合の問題点、消防団員の評価などです。この調査結果がまとまりましたら、その状況に応じて、これからの日消の対応についても検討したいと思います。

「消防団応援の店」は一定の割引をしていただけることを想定していますので、消防団員としてはそれによる経済的なメリットはある筈ですが、それ以上に、消防団の存在をより広く知ってもらう機会になったり、消防を応援してくれる人たちがいることがはっきりわかって、精神的な面でもプラスになるでしょう。そして、これが全国的に展開することになり、家族旅行などで他所に行った時もその応援の店でサービスを受けることができれば、消防団にとって全国的な連帯を実感できる機会にもなるでしょう。

おそらくその時は、全国的に通用する身分証明の何かや、どこに・どのような応援の店があるかの情報などが必要になるでしょう。

全国からの回答をお待ちしています。

「消防団員確保対策に関するシンポジウム」 における「事例発表」

(財)日本消防協会

平成25年5月22日（水）ニッショーホールにおいて「消防団員確保対策に関するシンポジウム」が開催されました。その第1部で全国の5つの消防団から消防団員の確保対策の事例発表がなされ、様々な取組みが紹介されましたので、その要旨を掲載いたします。

1 秋田県鹿角市消防団（黒澤 文男 団長）

○ 消防団の概要

鹿角市消防団は、現在、17分団38部制の定員892名で、市民の生命及び財産を守るための活動をしている。

鹿角市においても、若者の地域への帰属意識の低下により団員数が減少し、団員の高齢化などの諸問題もあることから、消防団員の確保が最重要課題となっている。

そこで、平成19年4月に消防団の魅力発信、消防団員の活性化を図る目的で、「市民を守る魅力ある消防団づくり基本計画」を策定し、女性消防団員の採用、機能別消防団、消防団車両の共同運用、消防職員分団パートナー制度、消防団協力事業所の育成など、消防団改革に取り組んでいる。

○ 資格取得講習等の充実

基本計画の中には、消防団員の資格取得講習等を取り入れ、団員が多くの資格を取得し、仕事の面でも、その資格を有効に活かしてもらうことで、さらなる魅力ある消防団を構築できるものと考え実施している。

危険物取扱者資格取得に向けては、資格取得講習会を、試験日の約1カ月前より、毎日曜日を講習日として開催している。この講習会に参加した団員は55名、実際に試験を受けた団員は47名で、合格率は34%となっている。

防火管理者資格講習会は、防火管理者資格要件を満たしている団員で、管理、監督的な職にある班長以上の団員を対象に、平成20年度より実施している。防火管理上必要な防火管理業務の知識習得に向けた講習内容であり、これまで40名の受講があった。消防団員として防火の知識は必要不可欠なことでもあり、資格取得要件に捉われず、一般団員から分団長まで幅広く受講団



「市民を守る魅力ある消防団づくり」基本計画
平成19年4月策定

- ① 4カ町村名の付いた分団名称を一連番号制改める組織改革
- ② 女性消防団員の採用
- ③ 機能別消防団員採用
- ④ 軽積載車の導入(平成24年度末まで3台導入)
- ⑤ 消防団車両の分署配置による消防本部との共働
- ⑥ 出勤手当見直しなどの団員の処遇改善
- ⑦ 出勤区分の見直し及び安全管理体制づくり
- ⑧ 消防団員の被服及び安全装備品の見直し
- ⑨ 副団長の事務分掌制
- ⑩ 危険物取扱者等資格取得の支援
- ⑪ 救急救助支援隊の発足

.....etc

消防団員の資格取得講習

危険物取扱者試験資格取得講習

・参加団員 55名
・受験者 47名
・合格者 16名

今後の課題
「合格者のアップ」

員を募って、多くの団員が受講できるように進めている。

普通救命講習会は、全ての分団員が普通救命講習修了証を取得するよう、目標を立てて実施している。実員826名のうち、550名が修了証を取得している。また、普通救命講習修了者のうち、上級救命講習修了者は119名、応急手当普及員の資格取得者は2名となっている。

○消防職員分団パートナー制度の導入

消防団と消防本部のパートナー制度を設け、消防団員と消防職員との協力体制を整えている。消防職員が各分団のパートナーとなり、消防団の活性化、消防団の魅力の発信に協力し合うことで、分団の活性化が進むものと考え実施している。

○ 救急救助支援隊の発足

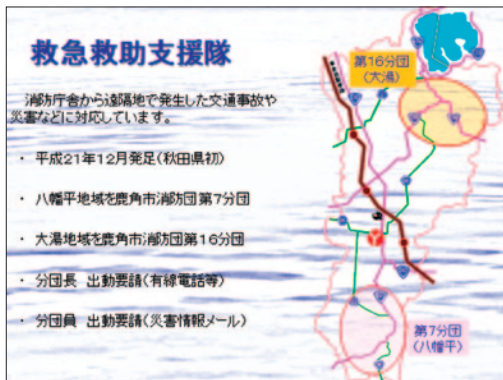
「消防力の整備指針」においては、消防団の業務として、地域住民等に対する協力、支援及び啓発並びに救助に関する業務が位置づけられている。

そこで、消防団と消防本部では、「鹿角市消防団救急救助活動基準」を策定し、平成21年12月に秋田県で初となる救急救助支援隊を、八幡平地区を管轄する第7分団と十和田地区を管轄する第16分団に発足した。

支援隊の装備として、AED、救急かばん、救助ロープなどを積載している。

支援隊を発足して、これまでに2件の出動要請があり、実際、現場での活動は水難事故に出動した1件となっている。

また、支援隊としての訓練は、団員の技術の習得、資質の向上を図り、各部隊との緊密な連携のもとに活動するため、年2回以上実施している。AEDの操作方法をはじめとした上級救命講習、各種ロープを使用したロープワークや事故対応訓練など、災害現場での安全管理の基本的な考え方を学び、実践に近い訓練内容と技術習得を掲げ、訓練を積み重ねている。



○ 今後の抱負

今後においても、消防職員分団パートナー制度等を活用しさらなる魅力ある消防団づくり、消防団員の活性化を図り、安全で安心な地域社会を目指し、先人たちの築いてこられた伝統と精神を守り、市民に愛される消防団として、最大限の努力を配し、積極的に活動していきたいと考えている。

2 新潟県長岡市消防団（廣井 晃 長岡中央方面隊長）

○ 消防団の概要

長岡市は、新潟県の中央に位置し、平成の大合併により、海岸線を抱える寺泊地域、山間部を抱える山古志地域、栃尾地域など、2市7町2村の全11市町村が合併した、人口28万の中核都市である。

長岡市消防団は、合併前には1団5方面隊24分団1,353人であったものが、平成23年10月には1団15方面隊80分団となり、現在4,211人の団員で、地域の安全のために活動している。

長岡市は、平成16年に7.13水害、同年10月には中越大震災が発生し、甚大な被害を被った。

また、中越大震災のわずか3年後の平成19年7月には、柏崎沖を震源とした中越沖地震が発生するなど、大規模な災害を経験している。

長岡市消防団は、7.13水害時には、水防活動のほかに、道路側溝の土砂を取り除く復旧活動も行った。

また、中越大震災の際には、発災直後に警戒巡視や避難所設置の支援も行い、その後は土砂崩れなどの二次災害防止の活動や道路の亀裂の応急復旧活動など、住民のニーズに対応すべく、幅広い活動を行った。

長岡市においても、団員の確保は厳しく、高齢化が進んでいる状況にあり、このことを打開するため、2つの方策を考案した。

○ 女性消防団員の確保

その1つは、女性消防団員の確保であり、平成23年7月から女性消防団員の募集に力を入れ、10月1日に25人の女性消防分団が「長岡フェニックスレディーズ」の愛称で結成され、現在、31人の女性消防団員が活躍している。

女性消防団の主な活動として、防火や救急のイベントにおける市民への広報指導やアナウンスであり、秋の火災予防運動の際に活躍している。

また、高齢者世帯への防火訪問なども行い、女性ならではのやわらかな感性で指導に当たってもらっている。

○ 未来の防災リーダー育成講座の実施

もう1つの方策として、「未来の防災リーダー育成講座」を実施している。少年期からの防災教育の重要性に着目し、中高生から地域の防災に興味を持ってもらい、防災教育に触れることで、将来的な地域防災力の向上や消防団への加入促進につなげる事業である。

平成22年度から開始して、平成25年度で4回目となるこの事業は、夏休みの期間中に市



内の中学生及び高校生を募集して、それぞれに2日間の防災教育を行うものである。

講座の内容としては、消防職員から指令室や消防車両などの消防本部の機能説明をしてもらうとともに、救助訓練体験を通して、自分の体力の限界を学んでもらっている。

消防団員からは、地震などの大規模災害で火災が発生した際の初期消火として、消火器の取り扱いや消火栓にホースをつないでの放水体験、また、最近、頻発している水害に対応するため、土のうの作製要領を指導している。



消火器取扱訓練



放水体験



「中越市民防災安全士会」の皆様からは、普通救命講習により、応急手当や心肺蘇生法、AEDの取り扱いを指導してもらい、傷病者が発生した際に対応するための知識を学んでもらっている。

「社中越防災安全推進機構」の皆様からは、防災に関するワークショップを担当してもらい、大規模災害が発生した際に出てくる問題を提起して、受講者からも意見を出し、災害が発生した際に重要な自助・共助の精神を学んでもらっている。

この講座を通じて、中高生の受講者に、消防団や地域防災において活躍している方々を身近に感じてもらい、地域防災に興味を持ってもらっている。同時に、大規模災害時には、自分の身は自分で守り、助けを必要としている地域の方には率先して手を差し伸べることができる勇気を養ってもらっている。

少年期から防災教育に触れることで、将来的に地域防災の担い手になっていただけることを期待している。

3 静岡県長泉町消防団（加藤 学 団長）

○ 消防団の概要

長泉町は、静岡県東部地域に位置する人口4万2,000人の大変小さな町であるが、北には霊峰富士を仰ぎ、東には箱根連山、南西には駿河湾が一望できる、少し高台の景観の良い町である。

このような環境の中、子育て支援、高齢者支援について、いち早く取り組んでいることから、人口が減らない町、増加している町として、全国的に知られる町である。

平成7年に阪神・淡路大震災が起きたが、その教訓として、普通救命講習の修了取得を全ての団員が行っている。

平成8年に女性消防団員を採用し、定数を110名にした。平成14年に3名を増加し113名となった。



○ 消防団員増員計画検討委員会の設置

長泉町は、団員のサラリーマン化率が8割と高く、平日の出勤率が2割と低く、東海地震などの災害を考える中、団員の確保や増員の計画を促進するため、まずは現役団員で構成する委員会を設け、平成16年には消防団員増員計画検討委員会の設置に至った。

それまで、消防団員は大きい地区からの選出だけであり、小規模地区からの選出がなく、また、新しくできたマンション、企業社宅からの選出もなかった。

そこで、各自自治体に対して説明会も開いたが、「消防署でやればいいのか」といった厳しい言葉も出た。しかし、阪神・淡路大震災以降、消防団に対しての町民の考え方が少し変わってきており、3年間の月日を経て、各地区との協議を重ね、人口・世帯数を勘案し、条例改正により定数113名から150名にして、平成19年4月よりスタートしている。また、勤務地団員も導入した。

消防団増員計画は一定の成果を上げたが、今後の定員の確保やさらなる増員も必要となることから、消防団活性化検討委員会に改名をし、委員会を継続し、定期的に会議を行っている。

○ 機能別団員制度の導入

しかしながら、その後、団員の確保が思うように進まないことや、消防団員のサラリーマン化で、平日昼間の火災出動の稼働率が低いことなどを考慮し、機能別団員制度について協議した。

平成23年度から機能別団員制度を導入し、定数も150名から160名にし、機能別団員として15名の入団者を確保した。また、平成25年度は18名確保している。

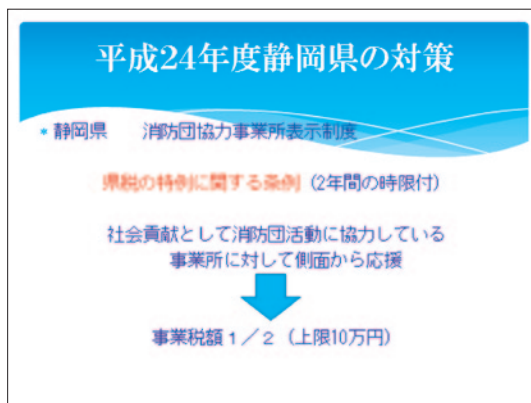
平成19年、23年と増員をし、定数を上げてきたが、いまだ定数に満たないのが実情ではある。しかしながら、平成18年の113名からは着実に増員をしてきている。

機能別消防団員制度導入										
対策前後の団員推移										
	団長	副団長	本部長	分団長	副分団長	部長	班長	基本団員	機能別団員	合計
平成18年	1 (1)	3 (3)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	5 (5)	17 (17)	75 (75)	—	113 (113)
平成19年	1 (1)	3 (3)	6 (6)	4 (4)	5 (5)	5 (5)	20 (20)	92 (106)	—	136 (150)
平成23年	1 (1)	3 (3)	6 (6)	4 (4)	5 (5)	6 (6)	20 (21)	81 (114)	15 (28)	140 (160)

4月1日現在の団員数
女性団員含む()は定数

○ 消防団協力事業所の優遇

その他、静岡県では、消防団協力事業所表示制度の認定を受けているなど、一定の条件を満たしている事業所に対し、2年間の期限をもって、法人事業税、個人事業税の減免をする条例も制定している。



○ 消防団応援事業の実施

また、長泉町では、商工会と連携をした、消防団応援事業を平成24年7月より実施している。応援内容は、現役団員とその家族を対象とした割引や粗品の提供である。協力店にはのぼり旗を掲示していただき、団員には団員証を配付し提示することとしている。

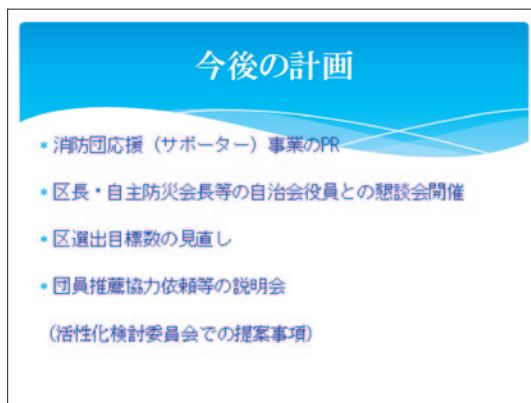
また、6月に予定されている支部操法大会には、各市町の商工会の協力のもと、ご当地グルメの出品をしていただく運びとなった。より一層の消防団との連携をとり、団員確保の足がかりとなるよう、ご協力もいただいている。



○ 今後の取組

今後の計画であるが、消防団応援事業のPR、新入団員の確保に取組み、また、各自治体の役員への団員推薦依頼ということで、説明会もする予定である。

今、長泉町は人口が増え、マンションなども建つような状態である。世帯数、新区などの増加により、新たな区画割をし、これからも増員をし、町民の生命、財産を守るため、頑張っていく所存である。



4 愛媛県松山市消防団（大西 浩司 副団長）



○ 消防団の概要

松山市消防団は、1団9方面隊41分団で構成されており、消防団員数は平成17年以降、毎年増加している。平成25年5月1日現在では、定員2,501名に対して、実員が2,377名となっている。

全国で年々消防団員の確保が難しくなっており、松山市でも同様であったことから、平成13年に消防団内部で、松山市消防団活性化推進検討委員会を立ち上げ、入団しやすく活動しやすい環境整備について検討を始めた。

○ 女性消防団員の導入

最初に導入したのが、女性消防団員で、女性消防団員は救命講習や防火・防災指導を中心に様々な活動を行っている。

現在の女性消防団員数は、大学生を合わせると157名で、発足時の62名から大きく増加している。

○ 機能別消防団員制度の導入

次に取り組んだのが、機能別消防団員制度の導入で、現在、松山市では4つの機能別消防団員を導入している。

1つ目は、平成17年4月にスタートした、郵政消防団員、通称「ファイヤーポストマンチーム」である。郵便局は消防団同様、地域に密着した存在であり、日々の業務を通じて、地域事情に精通している。特に集配を受け持つ方は、地勢や地域住民の状況など、災害対応に欠かすことのできない様々な情報を持っており、大規模災害時には、こうした情報をいち早く提供してもらい、迅速な消防・防災活動を行うことができる。

平成25年4月には、松山中央、松山南、北条郵便局のご協力のもと、新たに35名が入団し、市内全域をカバーできる体制が整った。

2つ目は、平成18年4月の大学生消防団員、通称「大学生防災サポーター」の採用である。大学生消防団員は、大規模災害時に、大学生の持つ若い力を避難所運営や備蓄物資の管理、配布などに効果的に活用するために、普段は学業の傍ら、避難所運営訓練や総合防災訓練への参加、上級救命講習の受講など、個々のスキルアップを図っている。そのほか、希望者は応急手当指導員の資格を習得し、女性団員とともに市民への普及啓発活動を行っている。また、卒業後、消防職員や消防団員となる者もあり、将来の地域防災を担う若者を養成する上でも大変重要な取り組みであると考えている。

3つ目は、平成18年12月から取り組みを始めた「事業所消防団員」である。これは団員確保において大きな課題であるサラリーマン化対策として導入したもので、その地区にある事業所の従業員の皆さんに、就業時間に限定し、分団の一員として消防・防災活動を行っていただくものである。



4つ目は、平成24年4月に島嶼部の高齢化、過疎化対策として取り組んだ、島に暮らす女性による機能別消防団員、通称「アイランド・ファイヤー・レディース」の導入である。この機能別消防団員は、男性団員が仕事で島を離れる日中に限定し、男性と同様に災害対応を行うもので、現在11名の方が、男性団員とともに、災害対応はもとより、救急患者が発生した場合には、港に着くまでの間に可能な限り応急処置を行っている。

○ 消防団員応援事業の実施

次に平成24年4月にスタートした消防団員応援事業の「まつやまだん団プロジェクト」は、消防団員とその家族を社会全体で応援していたくプロジェクトである。

新たにIC機能つき消防団員証を全ての消防団員に配付し、これを市内の応援事業所で提示することで、割引などの優遇が受けられるというものとなっている。

さらに松山市消防団応援自販機も設置していただき、消防団のPRとともに、売上の一部を活動費として寄附していただけることになった。この自動販売機は、現在、市内9カ所に設置されている。

○ 消防団員数の増加

松山市では、このほかにも、消防団協力事業所表示制度の活用や定年制の見直し、消防団条例における任用条項の見直し、さらには方面隊ごとの定数に加え、公募枠を設け、柔軟な人事管理を行うなど、消防団員が入団しやすく、活動しやすい活動整備に努めている。

これらの取組みにより、松山市の消防団員の実員は、平成17年1月の合併時に2,150名であったものが、平成25年3月には2,383名となり、実に233名もの増員が図られた。

こうしたことから、機能別消防団員だけでなく、我々基本団員も増加したため、条例定数を平成21年1月に150名、さらに平成25年4月には50名、合わせて200名の増員を行ったことで、現在の定数は2,501名となっている。

○ 今後の抱負

今後においても、消防団員の確保はますます困難になると思われるが、まずは基本団員の確保を最重点事項として取り組むとともに、基本団員の役割を補完していただく機能別消防団員など、時代に即した消防団の新たな体制を常に考え、常備消防と連携しつつ、積極的に消防団員の確保を進めてまいりたいと考えている。



就業時間中限定の消防団員



男性団員が仕事で島を離れる 日中限定の女性消防団員



5 鹿児島市薩摩川内市消防団（薬師寺正司 団長）



○ 消防団の概要

薩摩川内市は、九州の南西部に位置し、鹿児島県の北西部にあり、本土区域と東シナ海に浮かぶ甞島区域は映画『釣りバカ日誌』の舞台にもなったところである。

管内の面積は、683.5平方キロメートルで、合併により消防団員数の定数は1,329名、5大隊、9方面隊、32分団で構成されている。

そのうち、女性消防団員が島に40名、本土地域に20名の合計60名となっており、平成25年年11月の女性活性化大会において部長が活動事例発表をしたところである。

現在の消防団員の平均年齢は42.56歳で、過去5年間の消防団員数の充足率は96%前後を維持している。

団員の優遇性を図るために、平成15年度より、各方面隊から委員を選出し、消防団活性化委員会を発足し、団員の優遇、入団促進に有効な施策を協議し、施策実現に向けて頑張っている。

○ 消防団員協力事業所の表示等

薩摩川内市では、事業所に3名以上勤務し、消防団活動に積極的に配慮している事業所の表示を行っている。

32事業所あり、年に1回、消防局も一緒になって、3名以上勤務しているところに、消防局長、消防団長、大隊長と挨拶回りを行っている。

消防団協力事業所表示制度
当市では、事業所に3名以上団員が勤務し、消防団活動に積極的に配慮していただいている事業所に『消防団協力事業所表示証』を交付しています。
本制度は、消防団活動に協力的な事業所を顕彰する意味を込めて表示してもらう制度ですが、薩摩川内市では、32事業所が表示事業所として登録されています。
表示事業所の団員からは、「団活動に対する理解や支援が以前より高まってきている。」との声が聞かれるようになりました。

○ 消防団支援優遇制度の実施

団員の福利厚生をの推進と士気高揚、団員の確保を図る意味から、平成12年度から消防団支援優遇制度が始まった。

これは、宿泊施設やレンタカーなどの利用に際し、団員の身分を証明することにより、本人及び家族の料金の割引サービスを受けられるものである。

消防団員サポートの事業所としては、学習塾、ゴルフ場、飲食業、ガソリンスタンド、美容院などがあり、美容院は団員の奥様、女性団員に非常に喜ばれているところである。写真つきの団員証を作っている。

消防団支援優遇制度(平成12年度～)

消防団員サポート事業所
私たちは消防団活動を支えるために

薩摩川内市
消防 消防士

○ 消防団員を雇用している企業の優遇

また、消防団員を雇用している企業を、市の公共事業の指名競争入札で優遇する

制度を導入している。

深刻な団員の減少に歯止めをかけるとともに、団員が消防団活動に参加しやすい環境を整備するのが目的で始まったものであり、消防団員を雇用している事業所に、団員1人につき2点、最大で40点が加点されるものである。

事業所においては、大変喜ばれ、逆に企業側から「うちの社員を消防団員に入団させてもらいたい」という声もあるほどで、非常に助かっている。

薩摩川内市長も消防団・消防局出身であることから、色々な面で配慮いただいているところである。

○ 消防団サポーター制度の導入

頑張る地方応援プログラムの一環として、消防団サポーター制度ができた。

水害や大規模地震災害など、被害が広範囲で、しかも、長時間にわたり応急災害対策を実施しなければならない場合に、現役の消防団員に対して、これまでの経験を活かし、消防団OBの方々から消防活動の助言をいただく制度である。

○ その他の取組

このほか、女性団員の活用、小学生を対象とした体験入団などの様々な取組みもあり、今後は、市の広報誌、薩摩川内市にもFM薩摩川内が平成25年度より開局したのでFMラジオなども活用し、消防団活動を市民の方々に理解していただきたい。

さらに消防団活性化委員会などで検討を重ね、団員の確保に努めてまいりたいと思っている。

また、平成24年度の防災に関する全国作文コンクールで、女子中学生が消防団員のお父さんのことを書いて、「いつか私も」ということで入選させていただいたところである。

○ 今後の抱負

自らの生命や身体に危機が迫ったとき、最初に対処できるのは隣にいる人、つまり共助である。地域に密着した消防団員が、十分な活動ができるようにしていかなければならないと考えている。

今後ますます進展する高齢化社会、限界集落のことを薩摩川内市ではゴールド集落と言っているが、今後、課題も多いが、人とのつながりが少なくなっている現状に消防団も団員も積極的にかわりを持ち、市民が頼りにする消防団であり続けたいと考えている。

公共工事入札で優遇



当市は平成18年度から、消防団員を雇用している企業を市公共工事の指名競争入札で優遇する制度を導入。深刻な消防団員の減少に歯止めを掛けるとともに団員が消防団活動に参加しやすい環境を整備するのが目的。

①指名競争入札で指名する事業者について、工事実績や技能士の数、業績などを点数化し、合計点に応じて最大8段階の格付を実施。

②土木工事で最高のランクを取得するには1,270点以上が必要で、格付けの高い企業ほど規模の大きい工事の入札に参加できる。

③この格付け評価に加え、消防団員を雇用している事業所は、団員1人につき2点、最大で40点を加点される制度。

「事業者側からの声」…うちの社員も消防団員に入団させてもらいたい！との声も会社側からある。

サポーター制度

平成20年度から「頑張る地方応援プログラム」の一環として、消防団サポーター制度を導入。

これは、水害や大規模地震などで被害が広範囲に及び、しかも長時間にわたり応急災害対策を実施しなければならない場合に、現役消防団員に対して、これまでの経験を生かし、消防活動への助言をもらう制度である。

消防
その愛と力

消防団120年

自治体消防65周年



消防団120年・ 自治体消防65周年記念大会

平成25年11月25日(月) 東京ドーム

主催 日本消防協会 全国消防長会

豊かな街づくりに、
役立つ宝くじ。

宝くじの収益金は、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、いろいろなかたちで、みなさまの暮らしに役立てられています。



日本宝くじ協会
財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。 日本宝くじ協会ホームページ <http://jba-takarakuji.or.jp/>

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(財)日本消防協会



平成25年4月・5月放送分に
出演の消防応援団
赤井英和さん

5月25日又は5月26日放送



茨城県大子町消防団
団長
小盛 久男さん

会話の中に赤井さんの人柄の温かさを感じる事ができ、とても嬉しく思いました。
11月に東京ドームで開催される記念大会では、精一杯の演技をしたと思います。
これからも「地域の消防団」として活動して行きたいと思ひます。

5月11日又は5月12日放送



宮崎県延岡市消防団
第1支団
副団長
甲斐 博之さん

「おはよう！ニッポン全国消防団」ラジオ共演をしていただいた、赤井さん、山本さん、貴重な体験を有難うございました。我々消防団は、常に住民の生命財産を守るんだという気持ちを忘れずこれからも、地域防災の要として、災害に強い街づくりに頑張りたいと思ひます。

5月18日又は5月19日放送



埼玉県川越市消防団
女性団員
分団長
後藤 祐子さん

女性消防団員が発足10年目の今年、女性初の分団長に任命されました。
ちょうどその節目にラジオ出演の話をいただき、赤井さんと楽しいトークができて弾みがついた思ひです。
川越市消防団女性団員一同気持も新たに力を合わせて頑張ります。

4月27日又は4月28日放送



山口県下関市消防団
部長
植田 篤博さん

本州最西端の下関市消防団の代表として、出演させていただきましたありがとうございます。
赤井さんは怖いイメージでしたが優しい方で、山本さんも対岸の北九州市出身ということでリラックスして話すことができました。これからも住民の安全・安心のため、活発な消防・防災活動を続ける覚悟です。

5月4日又は5月5日放送



青森県八戸市消防団 館分団
分団長 松田 一さん

今回の放送を通じて多くの方々方が消防団活動に御理解をいただければありがたいです。
今後も地域住民の生命と財産を守るために微力ながらも活動していきたく思ひます。

平成25年6月放送分
出演の消防応援団
平野啓子さん



6月1日又は6月2日放送



静岡県熱海市消防団
女性消防部分団長 杉山 由記さん



すごく緊張しましたが、楽しくお話しさせていただくことができました。
これからも熱海市消防団の仲間とともに、市民や観光客の皆さんの安全・安心を守っていきますので、消防団の応援をお願いします。また、熱海にも遊びに来てくださいね。

6月8日又は6月9日放送



江戸消防記念会
会長 鹿島 靖幸さん

ラジオ出演、ありがとうございました。11月25日の東京ドーム記念大会では木遣りや縄振り・梯子乗りなどを披露いたします。今後も、代々受け継いだ伝統の技を後世に伝えるため、努めてまいります。

6月15日又は6月16日放送



青森県
五所川原市消防団
分団長 山内 初子さん

我が消防団絶好のPRチャンスとばかりに望んだ収録ですが、ドキドキしてそれどころじゃなかったです。これを機に仲間が増え、「活気あるね～、五所川原！」と言われるような分団になるよう団員一同力を合わせて頑張ります！

6月22日又は6月23日放送



長野県消防協会
会長 羽藤 公夫さん

まだまだ話したいことはたくさんありましたが、地域を守る消防団に興味を持つきっかけになり、一人でも多くの方が入団していただければと思います。

6月29日又は6月30日放送



千葉県
習志野市消防団
副団長 池田 博さん

市民の安全・安心を守るため、消防団員が不足する中、「自分の町は自分で守る」ということを改めて見つめて、消防団に興味を持って欲しいと思います。



平成25年7月放送分に
出演の消防応援団
水前寺清子さん

7月6日又は7月7日放送



熊本県八代市消防団
副団長 谷川 登さん

今回は、貴重な経験をさせていただき、また、水前寺清子さんの声に元気をもらいました。今後も、八代市民の安心安全を守り地域防災に頑張っていきます。

7月13日又は7月14日放送



広島県福山市消防団
部長 金原 弘明さん

この度は、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。
この経験を今後の消防団活動に活かしていける様、頑張っていきたいと思います。

7月20日又は7月21日放送



埼玉県羽生市消防団
副団長 高瀬 浩一さん

凄い緊張の中、水前寺清子さんの元気な声に“ありがとうございます”です。
今度は、記念大会の東京ドームで「消防団三百六十五歩のマーチ」を聞けるのが楽しみです。
これからも、全国の消防団をどんどんアピールして下さい。

7月27日又は7月28日放送



神奈川県川崎市消防音楽隊
カラーガード隊 茄子川 あずささん

消防団120年・自治体消防65周年記念大会では、迫力のあるパフォーマンスをお楽しみください。応援よろしくをお願いします。

**おはよう！ニッポン全国消防団
放送局・放送時間**

放送局	放送曜日	放送時間	放送局	放送曜日	放送時間
(株)ニッポン放送	日	6:15～6:25	(株)和歌山放送	土	6:30～6:40
(株)STVラジオ	日	5:50～6:00	(株)山陰放送	日	8:15～8:25
青森放送(株)	日	7:20～7:30	(株)中国放送	日	5:30～5:40
(株)IBC岩手放送	日	6:15～6:25	山口放送(株)	土	6:45～6:55
東北放送(株)	土	5:00～5:10	四国放送(株)	土	6:40～6:50
(株)秋田放送	日	6:15～6:25	西日本放送(株)	土	7:35～7:45
山形放送(株)	日	6:20～6:30	南海放送(株)	日	8:50～9:00
(株)ラジオ福島	土	5:40～5:50	(株)高知放送	日	6:40～6:50
(株)新潟放送	日	7:40～7:50	九州朝日放送(株)	日	6:15～6:25
信越放送(株)	日	6:50～7:00	長崎放送(株)	土	7:25～7:35
北日本放送(株)	日	6:10～6:20	(株)熊本放送	土	5:30～5:40
北陸放送(株)	日	7:40～7:50	(株)大分放送	日	6:45～6:55
福井放送(株)	日	6:10～6:20	(株)宮崎放送	日	6:20～6:30
東海ラジオ放送(株)	日	6:00～6:10	(株)南日本放送	日	8:30～8:40
大阪放送(株)	土	6:45～6:55	(株)ラジオ沖縄	日	6:35～6:45

※北陸放送(株)の放送時間帯が変更となりました。

活動事例報告

山口県消防操法大会「応急操法」を競う —消防団の技術と団結力のさらなる向上を目指して—

和木町消防団 団長 天羽 正人



1 和木町の概要

「緑の風薫る文化のまち」和木町は、人口6,500人余り、山口県の最東端に位置し、行政区域が10.56km²小さな町です。瀬戸内海に面した立地条件を利用し、日本で最初に誕生した石油化学コンビナート地区として栄え、昭和48年から維持してきた単独町制は、今年で40周年を迎えました。



注水障害から第1標的を射落とした瞬間

2 和木町消防団の概要

和木町消防団は、明治21年に有志が相寄り消防組を結成したことをきっかけに発足し、平成25年4月1日現在の実員数は69名で構成されています。団員数は少ないものの、団員の結束力は高く、「地域に愛される魅力ある消防団」を目指し、地域の行事等を通じた住民とのかかわりを大切にすることで、地域防災の充実強化に取り組んでいます。

操法大会ですが、山口県では通常行われる「基本操法の部」に加え、より実戦を見据えた「応急操法の部」という独自の種目が設けられています。和木町消防団も毎年大会に出場し、過去に8度の優勝を飾るなど輝かしい成績を取っています。「応急操法の部」は、さらに「ポンプ車の部」と「小型ポンプの部」に区分されるのですが、このたびは、応急操法の「ポンプ車の部」についてご紹介したいと思います。

3 山口県消防操法大会「応急操法」

消防団にとって夏の風物詩ともいえる消防



障害物の間を疾走

(1) 任務分担

- ア 指揮者 指揮担当
- イ 1番員 筒先担当
- ウ 2番員 筒先補助及び筒先担当
- エ 3番員 破壊担当
- オ 4番員 機関担当

(2) 操法の流れ

- ア 申告
- イ ホース延長等
- ウ 障害物の排除及び援護注水



分岐金具の接続とホース延長

- エ 危険物品の除去
- オ 第1標的への注水
- カ 増加ホースの延長
- キ 第2標的への注水
- ク 放水停止
- ケ 収納
- コ 点検
- サ 申告
- シ 解散

①障害物の排除及び援護注水、危険物品の除去

火災現場では、火点への到達までに障害が存在することは少なくありません。そこで、安全ドラムを障害物と見立て、スタートから標的までのルートは急角度になっています。また、危険物品（20kgのLPG容器）の手前には障害として合板が用意されており、とび口により排除を行います。そして、援護注水により団員の安全を守り、危険物品を所定の搬送場所へ運搬・除去します。

②第1標的への注水

標的にはセーフティコーンが使用され、「第1標的」、「第2標的」の2段階で用意されます。第1標的の前には30cm×40cmの小さな窓枠からしか注水できない障害が立ちはだかります。その小さな枠

から注水し、高さ1.8mの台に配置された標的を射落とします。

③増加ホースの延長、第2標的への注水

第1標的を射落としたり、続いて第2標的に向かいます。第2標的はさらに離れた位置に、しかも二手に分かれなければならないため、一度ホースと筒先を切り離し、分岐金具を使用してホースを延長します。第2標的は、高さ1.8mの台に2つ、さらに高さ3.6mの台に2つ用意されるため、これらの標的を素早く射落とすためには、正確な注水技術が求められます。

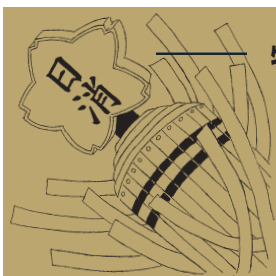
④収納

ホース等の資機材を収納する技術も、採点の一つとされています。収納が迅速であることはもちろん、資機材の落下や引きずり、器具の損傷の恐れがあるような取扱いをしていないか等を競います。

このように応急操法は、基本操法に比べて手順が多くなっていますが、スピード感、ダイナミックな動き、スポーティな要素を含んでいるため、選手だけでなく観客も熱くなる種目となっています。全国の消防団員の皆さんにも、ぜひ一度、応急操法を見ていただきたいと思います。



収納の様子



特別表彰「まとい」を受章して

「郷土防災のために」

奈良県五條市消防団 団長 櫻井 利文



～はじめに～

平成25年2月26日に開催されました第65回日本消防協会定例表彰式において、消防団として最高榮譽である特別表彰「まとい」を拝受いたしましたことは、私ども消防団員はもとより、諸先輩そして五條市民にとりまして、この上ない喜びであり誇りとするところであります。

これも、五條市の歴史を築いた市民の皆様と、これまで水火災・災害に立ち向かい困難を乗り越えてきた市民と消防団、そして多くの消防防災関係者皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心から厚く御礼申し上げます。

～五條市の紹介～

五條市は紀伊半島のほぼ中央部に位置し、平成17年に五條市・西吉野村・大塔村の1市2村が合併し、新生五條市が誕生し、北に金剛山系、東に大峰山系、南に紀伊連峰を望む



まとい受章



消防出初式で行進する女性団員

緑豊かな山々に囲まれ、また、北部に吉野川、南部に熊野川等の清らかな河川等に恵まれた自然環境を有しています。

また、古くから大阪、奈良、和歌山の街道を結ぶ交通の要所として多くの人々や文化の往来を育み、旧紀州街道筋である新町は歴史ある町並みが国の重要伝統的建造物保存地区に認定され、当時の面影を今に伝えています。

～五條市消防団の沿革～

五條市消防団を遡ると明治中期に各町村に消防組を組織し、戦後の市制施行による町村合併により、昭和34年には9分団団長以下1,160人の体制となり、今の五條市消防団の前身となる組織編成となりました。

その後昭和48年までの変遷により303名となり、平成17年の五條市・西吉野村・大塔村の合併により消防団も統合され、団員定数603名の新生五條市消防団となりました。また、平成24年度には、女性消防分団を設立、懸案課題であった市内新興住宅地域である田園・

あづみ台・なつみ台地区にも分団を新設し、現在7方面隊23分団となり、消防団長はじめ副団長4名、方面隊長7名、分団長23名で組織されています。

～五條市消防団の主な活動～

消防団の主な活動は、市総合防災訓練の参加から地区防災訓練の参加による地域住民の防災啓発、各分団における多様化する災害に対する自主訓練、消防学校消防団教育課程入校による知識習得と人材育成を実施しています。

また、幼年消防クラブ員への防火啓蒙活動・避難訓練指導、年末夜警、火災予防週間中の広報活動と防火対象物の消防訓練への参加、近隣消防団との合同訓練など、地域に密接した訓練を実施し市民の防火・防災啓発とともに、大規模災害時の連携強化を目的とした訓練など消防団員としての技術・資質向上に日々研鑽を重ね、地域防災力の向上に努めているところでもあります。

一昨年の台風12号における災害に際しては、本市南部において甚大な被害が発生し、約2ヶ月間にわたり人命救助ならびに捜索活動を実施しました。

未だ、4名の方が不明となっており、一日も早い発見が全団員の願いでもあります。

今後、懸念される東南海・南海地震における大規模災害においては、こうした活動以上の困難が予想されますが、消防団として、地域防災力の要となり、今後も市民の安心安全を最優先として、団員一丸となり団職務を遂行するのが使命と感じているところです。

消防団の課題としては、全国的に高齢化等と団員確保が課題となっていますが、本市においても団員平均年齢は47歳と高齢傾向であり、また、昨年度は2個分団を新設し、更なる体制の充実を図りましたが、既存分団全体の人員確保においては課題が残ったままです。

本消防団の課題については、対応策を検討中ではありますが、まず、現在の人員における機動力の向上と安全対策を充実させることによる、消防団活動の円滑化と防災力の向上を図るべく、今年度より各分団に原動機付二輪を順次配備し、消防団装備の充実を図り機動力向上に努め、各分団格納庫に設置されている警鐘台についても、従来やぐら形であったものを、コンクリート柱のものに改め、警鐘を電動サイレンとし、消防ホース使用後の乾燥用ホース掛けを電動巻き上げ式のものに順次更新を図り、高齢化する団員の負担軽減及び安全対策の一環としています。

～終わりに～

近年、気候や社会情勢の変化により災害は複雑多様化し、かつて経験したことの災害が全国各地で発生し、本市においても一昨年台風12号災害により未曾有の被害を経験し、消防団の必要性・重要性を再認識する機会となりました。また、その際は全国各地の多くの消防関係者の方々からご支援や励ましを頂き、災害に立ち向かう勇気と力になりましたこと、改めてお礼申し上げます。

最後に、この栄誉ある受章にあたり格別のご高配を頂きました日本消防協会はじめ消防関係各機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、さらなるご発展とご活躍を御祈念申し上げます、受章のご挨拶とさせていただきます。



消防出初式



「地域のため、 私たちの挑戦!」



福岡市早良消防団 団長 津和崎 允夫

1 福岡市城南区・早良区の紹介

明治22年の市誕生から今年で市制124年。今年5月には市の人口が150万人を突破し、人口増加が続く中「住みたい、行きたい、働きたい。アジアの交流拠点都市・福岡」として、都市づくりに取り組んでいるところです。

福岡市には7行政区がありますが、早良消防団は城南区・早良区を管轄しており、管内の人口は、約33万人です。南北に縦長の地域で、北は博多湾に面し、副都心である西新地区があり、南は脊振山地で佐賀県と接しており、農村部、山岳部などホテルも見られる自然豊かな地域で、バラエティーにとんだ地域が混在したエリアでもあります。

2 福岡市早良消防団の概要及び活動

早良消防団は、現在1本部8分団（城南区2分団、早良区6分団）381名（女性団員28名）で構成され、災害現場はもとより災害対応のための訓練、地域の自主防災訓練への参加、

消防広報など、地域における様々な活動に積極的に参加しており、地域住民からの信頼を得ているものと感じているところです。

このような中、早良消防団では、地域の安心安全のため、幹部の指揮能力の向上及び団員の災害対応能力の向上に努めており、新たな訓練方法についても積極的に取り入れているところです。

(1) 災害対応図上訓練（DIG：ディグ）

DIGとは、Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字をとったものです。

昨年度、国主催の「災害対応指導者育成支援事業」における災害対応図上訓練の研修に参加し、このDIGの素晴らしさを強く感じたことから、本市消防団の中でいち早く導入を決め、「DIG普及啓発委員会」を立ち上げました。この委員会は、各分団から選出された委員で構成されており、火災、水害、地震等、テーマの設



団幹部によるDIG訓練



管内の水害危険箇所

定からDIGの実施検証に至るまで、各分団で実施できる体制を作り、実戦訓練と図上訓練を両立することで、団員の災害対応能力の向上を目指していきたくと考えています。5月の末には、水害シーズンを前に水害対応をテーマに実施したことにより、器材の備蓄状況の確認及び危険箇所を事前に調査するなど、早速効果を発揮しています。

「それぞれの地域は、それぞれの住民が守る」を合言葉に、地域を深く知ることが重要であり、DIGを通して団員一丸となって安心安全なまちづくりを推進しているところです。

(2) 避難所運営訓練 (HUG: ハグ)

HUGとは、Hinanzyo (避難所)、Unei (運営)、Game (ゲーム) の頭文字をとったものです。

早良消防団女性団員28名で組織する「広報部会」において、訓練にHUGを積極的に取り入れています。HUGには、避難所を運営するための様々なノウハウが詰まっています。本来、消防団員は大規模な災害が発生したとき、主に災害現場で活動を行うため避難所運営に携わることはあまりないかもしれませんが、しかし、防災のプロとして、地域の中でHUGを広め、指導し、地域住民の防災意識を高め



女性団員によるHUG訓練



トーンチャイムの演奏会

ることを目的として取り組んでいます。

(3) その他

- ① 防伝統技術の継承を目的とした木遣り会、まとい会及び太鼓会があります。毎月定例訓練を実施しており、地域における祭事等において披露することで、消防団の広報を行っています。
- ② 女性団員による広報部会において、「トーンチャイム」というハンドベルに似た楽器を使い、各種防火イベントなどで演奏披露活動を行っています。少しでも、消防団活動に関心を持ってもらいたいという願いで頑張っています。
- ③ 早良消防団には、福岡市少年消防団 (BFC) の2つの地区隊があり、小学生4～6年生の子供たちを対象に防災教育を行っています。最近では、BFC出身者が入団するなど、嬉しい知らせに活動の効果を感じています。

3 おわりに

東日本大震災規模の災害がすでに想定外と言えなくなった今、私たちに課せられた使命も大きなものとなっています。従来の常識を打ち破り、わが町を守るため新たな取り組みに、これからも積極的に挑戦していきたくと思います。



「なまはげの里」の 消防団



男鹿市消防団 団長 鈴木 清

1 男鹿市の紹介

秋田県臨海部のほぼ中央に位置し、東西および南北ともに約24km、面積240km²、日本海に突き出た半島の大部分を占める、人口約3万2千人の市です。

豊かな自然、美しい景観や多くの文化財を活かした観光資源の活用、観光施設の整備等に努めるなど、観光産業に力を入れています。昭和48年には1市単独での国立公園の指定を受けるなど、東北有数の観光地としての地位を確立しています。

全国的に有名な奇習「なまはげ」は、12月31日大晦日の夜、男鹿半島全域の約60地区で行なわれる伝統的な民俗行事です。若者たちが、恐ろしい形相の鬼を想わせる面をかぶり、ケラミノやハバキを身に着け、

「ウォー、ウォー、怠け者はいねがあ」などと奇声をあげながら集落の各家々を練り歩く姿が知られる「なまはげ」は、年に一度訪れて、悪事を戒め、災禍を祓い、祝福を与える歳の神の化身ともいわれ、昭和53年には国の重要無形民俗文化財に指定されています。

2 男鹿市消防団の概要

旧男鹿市消防団と旧若美町消防団が合併し、現在の男鹿市消防団が発足しました。現在14分団で女性団員4名を含む764名(定数820名、充足率93.1%)で、小型ポンプ付積載車70台、小型動力ポンプ86台を配備し活動しています。

3 男鹿市消防団の活動

平成24年度中の出場件数は、火災が20件、災害や火気警戒等が64件、合計84件となっており、累計で4,977人の消防団員が出場しました。

本市は自然豊かな景勝地として有名ですが、その反面、自然災害が多く発生します。また、例年、山業取りや海難事故などによる行方不明も多数発生しており、火災対応以外の出場件数が多くなっています。



民俗行事「なまはげ」

●消防団行事

1月 男鹿市消防出初式

新たな決意と意気込みを市民に披露する為、分列行進を実施しています。

5月 男鹿市総合防災訓練

消防署や自主防災組織などの防災機関と連携し、放水訓練や水防訓練など各種訓練を実施しています。

6月 消防団幹部視察研修

先進的な取り組みをしている消防団などを視察し、幹部の意思統一と各分団の連携を強化することを目的に実施しています。

7月 男鹿市消防操法大会

大会で操法を競い合い、更なる技術の向上や各分団における団員のチームワークの向上を図ることを目的に毎年実施しています。



消防団出初式分列行進

警戒などがあります。また、自主防災組織の防災訓練への参加など、地域に根差した活動をしています。

4 おわりに

本市消防団を取り巻く情勢は、団員のサラリーマン化や高齢化、団員減少など、大変厳しいものとなっております。そのような中、東日本大震災以降は、市民の防災への関心が高まっており、我々消防団の活動が益々期待されているところです。

多くの課題はありますが、先人が築き上げた歴史と伝統を大切にしながら、郷土愛護の精神により、市民の生命と財産を守るため、今後も団員一丸となり真摯に取り組んでまいりたいと思います。



総合防災訓練にて津波の避難訓練を実施

その他の活動としては、春秋の火災予防運動期間中における広報巡回や各種訓練の実施。男鹿市の主要イベントである「なまはげ柴灯まつり」や「男鹿日本海花火」での火気警戒、各地域における祭典での火気



消防団消防操法大会



「安心して暮らせるまち 高島のために」



高島市消防団 団長 井川 正一

1 高島市の紹介

高島市は、平成17年1月1日に旧高島郡のマキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町が町村合併して新しくスタートしました。

日本最大の湖、琵琶湖の北西に位置し、春は桜、夏は水泳、秋は登山やクリ拾い、そして冬はスキーと、1年中自然の恵みを受けた行楽や観光が楽しめる地域です。

また、旧町村それぞれに歴史を持った特色のある文化があり、中でも春を中心に各地で行われる祭礼には県外からも多くの観光客が訪れ、毎年大変なにぎわいとなっています。



琵琶湖の桜（海津大崎）

高島市は、北陸地方と京阪神を結ぶ交通の要衝で、今津町から朽木を通り京都へつながる国道367号線は、古くは若狭湾の新鮮な海産物（特に鯖）を都へ徒歩で運んだ街道であり、「鯖街道」と呼ばれています。現在も沿線には鯖寿司を製造販売する店がいくつもあります。また、安曇川町は扇子が特産品で、竹の扇骨産地として有名です。

2 高島市消防団の概要

高島市消防団は、平成17年の高島市誕生と同時に発足し、現在に至っています。現在、1本部11分団28部53班で構成され、団員数は条例定数の560名に対し、508名、うち女性5名となっています。

運用資器材は、消防ポンプ自動車25台、小型動力ポンプ付積載車9台、小型動力ポンプ22台となっており、常備消防である高



放水訓練

高島市消防本部とともに、高島市民52,000人の安全・安心のため、日夜活動しています。

3 高島市消防団の活動

高島市内には琵琶湖西岸断層帯が縦断しており、以前から大きな被害をもたらす地震の発生が危惧されています。また、福井県敦賀市や美浜町の原子力発電所からも近く、東日本大震災での教訓をもとに、大規模地震の際の原子力災害に対する備えも強化しています。この中で、今年3月には、高島市朽木において大規模な原子力防災訓練が実施され、消防団も地区住民の避難誘導や消防車による広報活動訓練に参加し、実戦さながらの大変緊張感のある有意義な訓練となりました。



原子力防災訓練避難誘導

平成20年からは、待望の女性消防団員が入団し、火災予防運動時の防火啓発活動や、消防本部が実施する「防災体験ひろば」への参加などを行っています。昨年の市消防操法訓練大会では、女性だけの隊員で小型ポンプによる操法訓練の展示を行い、男性に負けず劣らずの力のこもった操法を披露し、会場の皆さんから拍手喝采をいただきました。



女性団員

4 終りに

高島市消防団も全国的な情勢と同様に団員のサラリーマン化・高齢化が進み、また団員数も減少傾向にあります。消防団・消防本部・地域がそれぞれ団員確保に取り組んでいます。また昨今各地で発生している自然災害や、今まででは予想もできなかった災害に対応できるよう、消防団員の原動力である、「大切なものを守りたい」「我が街を守りたい」という地域を愛する熱い思いと、同じ思いを共有する仲間たちとの絆を糧に、団員ひとり一人が知識・技術を高め、全市民が安心して暮らせる高島市を目指します。



救命講習



「より魅力ある消防団へ」



勝浦町消防団 団長 生家 道雄

1 勝浦町の紹介

勝浦町は、徳島県の東部に位置し、面積は69.80km²、人口約5,800人の緑豊かで気候温暖な町です。町の中央を勝浦川が貫流し、その豊かな清流にはたくさんの川魚や水鳥が流れる季節を映し出しています。

その自然の恩恵を受けながら、全国に春の訪れを告げる「ビッグひなまつり」をかわきりに、生名谷川沿いの勝浦さくら祭り、初夏には与川内ホテルまつりなどさまざまなイベントが開催されています。

また、秋には、町内一円でみかんが収穫され、冬を越して貯蔵された「勝浦貯蔵みかん」は、奥深い甘みを感じることができる美味しいみかんとなります。



新入団員研修

そのような、四季を通じて愉しむことのできる勝浦の魅力を全国的に発信するため、平成23年3月に県下15番目の道の駅「ひなの里かつうら」が産業・文化の交流拠点としてオープン、多彩な地域資源を生かし“みかんが香り笑顔あふれる元気な町かつうら”の実現に取り組んでいます。



新入団員研修



新入団員研修

2 勝浦町消防団の紹介

勝浦町消防団は、昭和30年の旧横瀬町・生比奈村の合併により、昭和32年に勝浦町消防団に改組されました。現在、本部以下10分団、240名で組織されています。第1分団から第9分団が各地区に配備されているほか、町役場職員による本部機動隊があります。

また、勝浦町には消防署がなく、火災や自然災害への対応は消防団が担っています。

3 活動

いつ発生するかわからない災害に備え、毎月1日と15日に定期訓練を実施し、消防技術の維持に取り組んでいます。

年間の主な行事としては、非常備3町村合同の新入団員研修や夏期研修、年末特別警戒、消防出初式を実施しています。

また、昨年9月には四国霊場第20番札所



鶴林寺消火訓練

である鶴林寺の火災を想定とした大規模な消火訓練を実施し、重要文化財の保護にも努めています。

4 おわりに

私たち消防団は、地域防災活動の担い手として、団員が一層の団結をし、消防技術の練磨に励まなければなりません。そして、災害に強い消防団を築き、地域に愛される消防団となることができるよう、日々努めていきます。



鶴林寺消火訓練



シンフォニー（東京都） 「世田谷消防団から スタンドパイプを発信」

世田谷消防団本団 部長
安孫子 淑子

私の住む世田谷区は、東京23区の中では人口が最も多く、面積は大田区に次いで2番目に広い区です。区内には駒沢オリンピック公園や、若者で賑わう三軒茶屋や下北沢等の繁華街もあります。また、伝統の世田谷ボロ市が年2回開催され、近年は海外からの観光客も多く、大勢の人で賑わう行事となっています。

私が所属する世田谷消防団の団員数は、平成25年6月現在約550名で、その内女性団員は85名と団員数の約15パーセントを占めています。私を含め3名の女性が団本部に在籍し、他の女性団員は、地域の18個分団それぞれに配属されています。

私たち消防団員は、色々な役職を兼務している団員も沢山おります。団員の皆さん

は世田谷を愛し、この町の安心・安全のために労を惜しまず活動し続けております。

ここで私たち女性団員が夢中で取組んだ消防団操法大会の活動の一部を紹介します。

世田谷消防団操法大会は、毎年6月に実施されています。最近では、女性団員も、指揮者、3番員等として積極的に参加し、競い合い、励まし合い、切磋琢磨し、男性団員とともに地域防災の要となれるよう昼夜を問わず訓練に励んでいます。

東日本大震災以降、大規模な地震発生の可能性が新聞、テレビ等で大きく報道される機会を散見します。このような状況において、震災が発生した場合は、消防隊が直ぐに災害現場に来れないなど、あらゆる状況を想定しなければなりません。

そこで世田谷消防署が、震災時等の火災発生時の初期消火対策として、誰もが使用できるスタンドパイプ等を活用しての消火が有効であると考え、スタンドパイプの取扱の基本操法を確立しました。

この操法は、女性3人で行い、訓練用消火栓の蓋を開け、放口にスタンドパイプを差し込み、屋内消火栓で使用するホースを必要な本数（3本位）と管そうを繋いで消火する一連



スタンドパイプを使用した操法審査会



スタンドパイプを使用した操法審査会

の活動内容で、軽量で操作も理解しやすく、とても簡単で利にかなった取扱い操法です。

このスタンドパイプは、消防車が進入できない狭隘道路地域や住宅密集地域が数多くある世田谷消防団には、とても有効で優れたものと感じています。

平成23年度の世田谷消防団ポンプ操法大会からは、可搬ポンプ操法のほか、女性消防団員によるスタンドパイプ基本操法も審査の対象として組み込まれ、各分団の女性団員の中から3名1組の選手を選出し、8隊が消防署の指導のもとで大会当日まで、約3か月間の厳しい訓練を重ね大会に臨みました。訓練中は、他の各分団の選手たちと互いに協力し学び合いました。でも、大会当日は皆ライバル同士、その習得の成果を競い合いました。

私も平成23年度から指揮者として出場し、昨年度は銅メダルを手にすることができました。約3か月以上の訓練を続け共に支え合い、手にした賞状、メダルを胸に3人の仲間と涙を分かち合った時を今でも大切な思い出としています。どんな色のメダルでも、とても価値のある重さを感じた大会の一日でした。

現在、世田谷消防団には、スタンドパイプが各分団に整備されています。また、スタンドパイプ基本操法が世田谷消防団操法大会に組み込まれ、大会において住民の方々にお披露目し、必要性、簡便な操作性もPRされた効果もあり、世田谷消防団管轄区域内の各町会・自治会等においても、スタンドパイプ資器材一式を数台購入する町会等も増えてきているのが現況です。

今後も私たち女性消防団員が習得したスタンドパイプ基本操法を多くの住民の方々に理解し学んでもらうため、広報活動や住民指導等を積極的に行い、今後、来るやもしれない災害時に住民の方々自らが活用できる消火資器材として、また、私たち消防団員が防災リーダーとして率先して住宅密集地域等での消火活動に役立てるために、更に取扱い訓練に励んでいきたいと思っています。

結びに、迫り来る震災に臆することなく、地域の人々との協力連携を大切に、尊い命を守り、世田谷を守り続けていけるよう、消防団活動に励んでまいります。



世田谷消防団消防操法大会
スタンドパイプ操法の部 第3位

「深まる女性消防団員の絆」

結城市消防団 団長 舘野 祐二郎



板橋消防団 団長 田中 盛男



結城市は、茨城県西部の玄関口として、奈良・天平時代から『総の国ゆうき』と呼ばれ、白菜やレタスなどの農産物のほか、ユネスコ無形文化遺産の『本場結城紬』が特産となっております。

平成25年7月7日に茨城県結城市において、東京都板橋消防団女性団員との第2回目となる交流を行いました。

交流のきっかけは、結城市の市長公室長のご家族が東京消防庁板橋消防署に勤務をしているご縁で、先進的活動に取り組んでいる板橋消防団女性団員の皆様との交流を今年の3月に結城市から希望したことによります。突然の申し入れにもかかわらず、板橋消防団の皆さまから快く承諾を頂き、板橋消防署において初めての交流が取り行われ、活発な意見交換を実施致しました。



第1回意見交換会（於 板橋消防署）



第2回意見交換会（於 結城消防署）

今回は、結城消防署において、板橋消防団をお迎えし、結城市の実状に合わせた消防活動の概要を結城市女性消防団員と結城消防署員、各々の視点により説明を行い、意見交換会を実施しました。

出席した結城市女性消防団員からは、活動環境に違いはあるが、「自分達のまちは自分達で守る」という同じ精神で活動していることが改めて実感でき、先進的な活動をされている板橋女性消防団を目標に、今後とも交流を続けていきたいとの声があがっていました。

この交流によって生まれた絆を大切に、更なる女性消防団の活性化を図り、地域に貢献することを決意するところです。



板橋消防団・結城市消防団 第1回交流記念
平成25年3月16日（土） 於 板橋消防署



板橋消防団・結城市消防団 第2回交流記念
平成25年7月7日（日） 於 結城消防署

消防団協力事業所表示証は、 日本消防協会で販売しています。

(財) 日本消防協会では、総務省消防庁が定めた規格による表示証を販売しております。



「消防団協力事業所表示制度」表示マーク

表示マークのコンセプト

事業所の消防団への協力を消防団員と事業所の従業員をイメージした輪の連結で力強く表現し、また、ハート型は地域を思う心をあわせて表現しています。



総務省消防庁が交付する表示証
(ゴールドプレート)



市町村等が交付する表示証
(シルバープレート)

お申込方法は、当協会ホームページに掲載しております。

<http://www.nissho.or.jp>

お問い合わせ

(財) 日本消防協会 総務部 企画担当 03 (3503) 1481

花火・火遊びによる火災の防止

総務省 消防庁 予防課

1. 花火は楽しく安全に遊びましょう

夏の風物詩「花火」。子供たちにとって楽しみな季節となりました。

しかし、気軽に楽しめる花火も、取り扱いを誤ると火事や火傷などの事故につながりかねません。実際に平成24年中、花火が原因である火災は、全国で76件発生しています。

火災や火傷などの事故が起こらないよう十分注意し、夏の楽しい思い出にしましょう。

花火を安全に遊ぶポイント

- 1 気象条件を考え、風の強いときは花火をしない
- 2 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ
- 3 子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ
- 4 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る
- 5 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につける

火遊びによる火災防止のポイント

- 1 子供だけを残して外出しない
- 2 ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない
- 3 子供だけで火を取り扱わせない
- 4 火遊びをしている所を見かけたら注意する
- 5 火災の恐ろしさ・火の取扱方法についてきちんと教育する



2. 火遊びによる火災を防止しましょう

子供の火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ、火災が拡大する要因にもなります。

また、平成24年中の火遊びによる火災は、1,207件発生しています。

そのうち、ライターによるものが582件（48.2%）で最も多く、次いでマッチによるものが194件（16.0%）、煙火によるものが76件（6.2%）となっています。

火遊びによる火災をなくすためにも、大人が子供たちに対して火災の恐ろしさや正しい火の取り扱い方法を教える必要があります。子供の火遊びによる火災が起こらないよう、もう一度子供たちと火災の恐ろしさ・火の取り扱いについて話し合うようにしましょう。

（各数値は「火災報告（平成24年中）」における火災の概要（概数）による。）

3. ライター等の販売が規制されました

平成22年12月27日に消費生活用製品安全法関係の改正法令が施行され、いわゆる使い捨てライターや多目的ライターは、本体にPSCマークが表示されていないものは販売が禁止されています。PSCマークは、子どもが簡単に操作できない幼児対策（チャイルドレジスタンス機能）等の技術基準に適合した場合に付される表示です。

PSCマークが表示されていない古いライターを捨てる場合は、ガス抜き等を行った後、各自自治体のルールに従って正しく廃棄しましょう。

販売規制の対象となるライター等

使い捨てライターや多目的ライター（点火棒）のうち、

- ・ 燃料の容器と構造上一体となっているものであって
- ・ 当該容器の全部又は一部にプラスチックを用いたもの



PSCマーク



問い合わせ先

消防庁予防課 中田

TEL：03-5253-7523

台風に対する備え

総務省 消防庁 防災課

日本列島には毎年、主に7月から10月を中心に台風が襲来し、土砂災害や河川のはん濫など、大きな被害が発生しています。

平成24年6月、台風第4号が日本列島に接近し、強い勢力を維持したまま和歌山県南部に上陸しました。その後、愛知県東部へ再上陸し、関東地方、東北地方へと進み、死者1名、負傷者79名という大きな被害を記録しました。

また、同年8月に発生した台風第15号では、中心気圧910ヘクトパスカルを観測しました。この台風第15号では、各地で停電、信号機の倒壊が発生し、長崎県では、26mにも渡り護岸が崩壊する等の被害が報告されました。

台風による災害

〔大雨による災害〕

台風は激しい雨をもたらします。台風やその周辺部では、激しい雨が長時間にわたって降り続くことがあります。また、台風が日本から遠く離れた南の海上にあっても、日本付



平成24年台風第15号に伴う災害
(写真提供：与論町役場)

近にある前線に暖かく湿った空気が送り込まれて大雨となることがあり、河川のはん濫や、がけ崩れ、土石流などが発生し



て私たちの生活や生命を脅かすようになります。

〔暴風による災害〕

台風の周りでは強い風が吹いています。平

台風の強さ	中心付近の最大風速	風速と被害 (『新版 気象ハンドブック (朝倉書店) より』)
強い	33m/s以上44m/s未満	[40m/s] 屋根が飛ぶ。小石が飛び散る。
非常に強い	44m/s以上54m/s未満	[50m/s] 倒れる木造家屋が多くなる。
猛烈な	54m/s以上	[60m/s] 鉄塔の曲がるものがでる。

台風の強さと最大風速、被害の対応 (気象庁資料より)

均風速15m/s～
20m/sの風であ
っても、歩行者
が転倒したり、
車の運転に支障
が出たりするこ



とがあります。さらに強くなると、物が飛ん
できたり、建物が損壊したりするなどの被害
が生じるようになり、風速40m/sを超えると
電柱が倒れることもあります。

また、台風の周辺では大気の状態が不安定
になり、竜巻などの現象が生じることがあり
ます。

〔高潮・高波による災害〕

台風が接近し
て気圧が低くな
ると海面が持ち
上げられます。
そこにさらに強
い風が吹き込ん



で、大きな高潮災害が発生することがありま
す。昭和34年に日本に上陸した伊勢湾台風で
は、名古屋港で通常よりも約3.5mも潮位が上
昇するなど、高潮による大きな災害が発生し
ました。また、台風の強い風によって高波が
発生したり、台風が日本から遠く離れてい
ても「うねり」となって日本周辺に高波が押し
寄せたりすることがあります。

台風に対する備え

〔日頃からの備え〕

家庭においては台
風に備えて、次のよ
うな準備を十分にし
ておきましょう。



- ・あらかじめ窓や雨
戸の補強をする
- ・避難する時に必要な非常持出品をまとめて

おく

- ・家の中で数日間過ごすことができるよう水
や食料などの非常備蓄品を準備しておく
- ・避難所の位置や避難所までの道筋を確認し
ておく
- ・ハザードマップなどで、家の近くの危険箇
所を確認しておく

また、災害時の避難において支援を要する
方々（災害時要援護者）が迅速・安全に避難
できるように、いざという時に誰が支援し、
どの段階でどうやって避難するかなど、具体
的な避難支援計画を定めておくことが重要で
す。

〔台風が近づく危険性が高まったら〕

台風が近づく危険
性が高まったら、常
に台風に関する情報
や避難に関する情報
に注意してください。
災害発生の危険性が
高まり、市町村から



避難勧告や避難指示などが出された場合には、
危険な状態になる前に、すぐに安全な場所に
避難しましょう。

強い雨や風などによって市町村からの避難
勧告等の呼び掛けが聞き取れないことがある
かもしれません。気象情報等をテレビやラジ
オなどでチェックし、危険と思われる場合は
速やかに避難することが重要です。

また、浸水や暴風雨により避難所までの歩
行等が危険な状態になった場合には、自宅や
隣接する建物の上部階へ緊急的に避難する、
崖から離れた側の部屋に移動するなど、安全
を確保するため、臨機応変な対応をとる必要
があります。

問い合わせ先
消防庁国民保護・防災部防災課 原田
TEL：03-5253-7525

住民自らによる災害への備え

総務省 消防庁 防災課

日本列島は、その位置、地形、気象等の自然条件から、地震、台風や梅雨前線による集中豪雨、大雪等による自然災害が発生しやすい環境にあります。

昨年度においても、5月に発生した竜巻による被害をはじめ、7月の梅雨前線による大雨や九州北部豪雨による被害、11月から3月までの雪による被害など、全国各地で大きな被害が発生しました。

また、南海トラフ巨大地震、首都直下地震等の発生が懸念されており、このような事態が発生すると、地震の揺れや津波などによって甚大な被害が広範囲にわたって発生することが予測されています。

大規模災害時には被害が大きくなればなる程、消防などの公的機関による消火、救助、救急などの活動が追いつかなくなることが想定されます。例えば大地震が発生し、消防車は全て出払い、がれきで道路が塞がれ、生き埋めになっている人や負傷者がたくさんいたら—そこで大きな役割を果たすのが、地域住民自らによる防災活動です。

地域住民による防災組織として、自主防災組織があります。自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、地域で住民が自主的に結成する組織のことで、平常時には防災訓練の実施、防災知識の普及啓発、災害危険箇所の点検、資機材の購入・点検等を行い、災害時には初期消火、避難誘導、救出・救護、情報の収集・伝達、給食・給水、災害危険箇所の巡視などを行います。自主防災組織は、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、その重要性が見直され、全国各地でその結成・育成が積極的に取り組まれています。

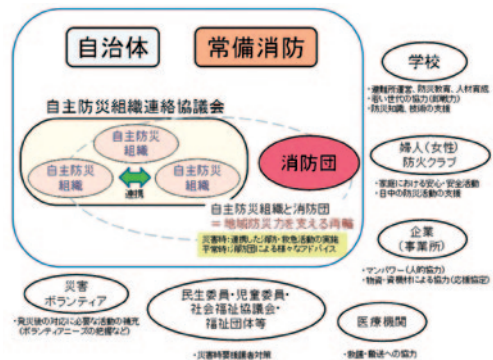
(平成24年4月1日現在、15万0,512団体)

連携による活動の活性化

地域の安心安全を守るために活動している自主防災組織が、地域の垣根を越えて互いに連携したり、消防団、学校、企業など、地域の様々な防災活動団体と連携し、お互いの得意分野を活かして補完し合うことで、地域の防災力をより高めることができるようになります(図1)。

ここで、地域の住民が連携して防災のまちづくりを行っている石川県珠洲市正院地区自主防災組織の取組事例を紹介します。

正院地区自主防災組織は、消防団、各ボランティア、青年団、PTAなどと協力し、市指定の津波来襲時の一時避難場所と避難路を約1か月半の時間をかけて整備しました。有志約200人がそれぞれの経験や職業を活かして木を伐採して避難路を拡大したり、登坂に枕木



さまざまな関係機関との連携により期待できること

や砂利を敷設したり、手すりを設置して登りやすくするなどの整備が行われ、地域で協力して津波からの避難に備えています。

このように、普段から地域の関係団体と連携・協力関係を築き、地域における人的ネットワーク(つながり、結びつき)を広げ、地域コミュニティの強化を図ることが、いざという時に大きな力となります。

自主防災組織については、消防庁が作成した「自主防災組織の手引」に詳しく記載しています。下記のURLからご覧になれますので、ぜひ参考してください。

http://www.fdma.go.jp/html/life/bousai/bousai_2304.pdf

災害時には、その地域に住んでいたり、働いていたりと、地域をよく知っている方々の自主的な防災活動が大きな力を発揮します。皆さんも、自主防災組織の活動に積極的に参加しましょう。



避難路整備の様子
(出典：第17回防災まちづくり大賞)

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 中村

TEL：03-5253-7525



消防団120年特別企画 「大日本消防」表紙絵

(財)日本消防協会



発行：昭和3年7月

第2巻第7号

題名：「睡蓮」

筆者：岡田三郎助

(おかださぶろうすけ)

明治2年1月12日生まれ。

昭和12年 第1回文化勲章受章。

代表作に「某婦人像」「読書」など。



発行：昭和3年8月

第2巻第8号

題名：「朝顔」

筆者：小林古徑

(こばやしこけい)

明治16年2月11日生まれ。

昭和25年 文化勲章受章。

代表作に「清姫」「孔雀(くじゃく)」など。

少年少女消防クラブフレンドシップ2013

(一財)日本防火・防災協会

平成25年3月26日(火)、全国の少年消防クラブ員やその指導者など約350人が参加し、総務省講堂において「少年少女消防クラブフレンドシップ2013」が開催されました。

これは、少年消防クラブの育成発展に寄与するため、優良少年消防クラブ及び指導者の表彰を行うとともに、少年消防クラブ員の交流を通じて、その活動の一層の活性化を図ることを目的として、総務省消防庁、都道府県などが構成する全国少年消防クラブ運営指導協議会(会長：消防庁長官)が主催し、昭和29年から毎年行っているものです。

今回は、第1部「表彰式」、第2部「アトラクション」、第3部「ビデオ上映」という構成で実施されました。

最初に、第1部では、岡崎浩巳消防庁長官から主催者としての挨拶があった後、特に優良な少年消防クラブとして16団体、優良な少年消防クラブとして29団体、優良な少年消防クラブ指導者として14名が表彰されました。

その後、財団法人日本防火協会(現：一般財団法人 日本防火・防災協会)秋本敏文会長が祝辞を、受賞団体を代表して札幌市の富丘少年消防クラブ 西村海人君が謝辞を述べました。



岡崎消防庁長官 挨拶



秋本日本防火・防災協会会長 祝辞



受賞団体代表西村海人君による謝辞

第2部では、「都民と消防の架け橋」として演奏活動を通じて防火・防災の意識向上と協力を呼びかけている東京消防庁音楽隊による演奏が行われました。

第3部では、昨年8月に岩手県で開催された「少年消防クラブ交流会」の様子を収めたビデオが上映されました。北海道、東北、関東地方から参加した少年消防クラブ員が陸前高田市の被災地視察をはじめ、ホースの搬送やロープの結索などを取り入れた合同訓練、炊き出し訓練等に他の地域で活躍する少年消防クラブ員と一緒に取り組み、交流を深めている様子を鑑賞しました。

なお、表彰団体及び表彰者は以下のとおりです。

<表彰団体並びに表彰者一覧>

○特に優良な少年消防クラブ（16団体）

都道府県	団体名	都道府県	団体名
北海道	富丘少年消防クラブ	富山県	高岡市立博労小学校少年消防クラブ
岩手県	大沢少年消防クラブ		鷹栖少年消防クラブ
茨城県	堅倉小学校少年消防クラブ	静岡県	磐田市立豊岡南小学校少年消防クラブ
栃木県	足利市立愛宕台中学校少年消防クラブ	京都府	京都市立下京少年消防クラブ
東京都	京橋消防少年団	奈良県	伏見少年消防クラブ
	日野消防少年団	広島県	栗原少年消防クラブ
	赤坂消防少年団		比治山学区少年少女消防クラブ
	西新井消防少年団		
	新宿消防少年団		



特に優良な少年消防クラブ表彰

○優良な少年消防クラブ（29団体）

都道府県	団体名	都道府県	団体名
北海道	新琴似西少年消防クラブ	富山県	高岡市立万葉小学校少年消防クラブ
	山鼻少年消防クラブ	石川県	米丸子ども消防クラブ
青森県	新山少年消防クラブ		此花子ども消防クラブ
	福地小学校少年消防クラブ	福井県	長畝小学校少年消防クラブ
岩手県	小田少年消防クラブ	岐阜県	那加第一小学校少年防火クラブ
宮城県	松島第二小学校少年消防クラブ		中央小学校少年防火クラブ
福島県	田村市立大越中学校消防クラブ	静岡県	磐田市立竜洋北小学校少年消防クラブ
	喜多方市立第一小学校消防クラブ	愛知県	春日井市立坂下小学校少年消防クラブ
茨城県	旭西幼年消防クラブ		半田市立亀崎小学校少年消防クラブ
東京都	池袋消防少年団		瀬戸市立萩山小学校少年消防クラブ
	品川消防少年団	京都府	宇治市広芝少年消防クラブ
	小石川消防少年団	島根県	温泉小学校少年消防クラブ
	本郷消防少年団	岡山県	木之子少年消防クラブ
	足立消防少年団	香川県	坂手少年消防クラブ
神奈川県	川崎市中原地区少年消防クラブ		



優良な少年消防クラブ表彰

○優良な少年消防クラブ指導者（14名）

都道府県	氏名	団体名
北海道	松本 政昭	新琴似西少年消防クラブ
	小林 環	富丘少年消防クラブ
宮城県	横山 ミヨ	東大野田少年少女防火クラブ
福島県	菅家 由紀子	喜多方市立第一小学校少年消防クラブ
東京都	酒井 浅吉	小石川消防少年団
	佐久間 佳一	成城消防少年団
	吉野 弘道	向島消防少年団
	加藤 悦孝	日本堤消防少年団
	久保 隆一	青梅消防少年団
静岡県	福原 克子	黒田学童少年消防クラブ
京都府	菅野 弘二	宇治市立広芝少年消防クラブ
広島県	松本 多美子	府中町少年少女消防クラブ
福岡県	濱地 邦和	糸島少年消防クラブ
大分県	飯田 正一	ムササビ少年消防クラブ



優良指導者表彰

うちの

名物団員



福岡県



福岡市早良消防団 原分団 分団長

清水 和人

「木工ろくろ職人」白髪のダンディな清水分団長は、8月で消防団歴31年になり、纏歴は20年、福岡市纏会の纏指導員二期生としても、16年間指導員を務められています。自分に厳しく、人に優しく、照れ屋で笑った時の笑顔が最高に素敵な名物分団長として、団員からも慕われています。

50歳の頃、消防博物館で見た2分の1の大きさの「いろは48組、本所深川16組」の纏に魅せられ、職人の技で見事な「早良団纏」及び「8分団纏」のミニチュア版を作成し、団本部のある早良消防署に寄贈して頂いています。今では長年、地域に貢献した退団者へ、感謝の気持ちを込めてひとり一人に「記念の纏」を贈呈されています。



東京都



世田谷消防団 第16分団 分団長

島田 武雄

平成24年度に消防団在籍40年を迎え、島田分団長の家族に対し消防団員家族感謝状が授与されるなど、地域の信頼を一手に集めています。

一方、何と言ってもお祭りが大好き、30数年前に仲間達と「みこし会」を結成。サマーフェスティバルでは、区内の神輿、太鼓が参加する中、自慢の世田谷区で一番大きい大太鼓の上に乗って、士気を鼓舞しています。また、地元の例大祭の時には、祭り半纏を着込み、祭りの先頭で采配を振るお祭り大好き分団長、わが町の名物消防団員です。



徳島県



那賀町消防団 相生機動分団 団員

松本 裕也

那賀町の人形浄瑠璃座「丹生谷清流座」に所属する松本裕也さんは、消防団員として活動する傍ら、月2回程度人形遣いの練習を行っています。まちの農村舞台を後世まで残したい。そんな思いから、町内の農村舞台等で年間十数回の公演活動を行っています。現在は、松本さんを人形のように上手に操ってくれる花嫁を募集しているそうです。



行田市消防団 中央第1分団 団員

ガーデナー・ロバート・ウィリアム

ご紹介するロバートさんはイギリス生まれで、現在は行田市の市立中学校のALT（外国語指導助手）として英語を教えています。

ロバートさんはロンドン大学を卒業後、子供の頃から興味があった日本文化を勉強するため、平成12年に来日し埼玉県秩父市に住み始めました。来日当初は言葉も通じず、孤独で不安な日々を送っていましたが、たまたま知り合った地元の消防団員との交流から、日本人の優しさと温かさに触れ、心身共に救われたそうです。

その後、平成22年に行田市に移住してきたのをきっかけに、今度は自分が消防団員となり、自分と同じような境遇の人々や、同じ街に住む人々の役に立ちたいとの思いから入団を決意したそうです。

これからも現在の仕事をしながら日本に永住することを希望しており、持前のボランティア精神と消防団精神で「わが街を守りたい。」と力強く話してくれました。



豊中市消防団 副分団長

安原 俊行

安原さんは、平成16年に消防団に入団し、現在は本市中心部に位置する、大池分団の副分団長を務めています。

入団のきっかけは、自宅で経営している店が屯所の向かいにあることから、消防団の活動をよく目にしていたそうで、「私自身も火災の時など、いの一番に出動ができ、市民の安心安全のために活動できる」と思っていたからだそうです。

次に安原さんの仕事を紹介します。安原さんは、弘化元年（1844年）開業の上方文化伝える銘菓の「のれん」を受け継いだ和菓子職人で、大阪府豊中市で茶道菓子、赤飯各種御進物用を扱う「豊中京富（とよなかきょうとみ）」を営んでおります。今回ご紹介する商品は「ゆたか餅」です。豊中の「豊」を取り、「ゆたか餅」と名付けています。徳島の和三盆という砂糖ときな粉を使っており、大変好評です。豊中に訪れた際には、ぜひご賞味下さい。



魚津市消防団 経田分団 部長

中村 文夫

ハァ〜どすこい・どすこい！

どんな場面でも即興で“相撲甚句”を創り、美声で歌ってしまう人気者、中村部長を紹介します。

農業に従事しながら、河川の見事な石積み堤防を作ることが彼の仕事、石工と呼ばれています。

「魚津しんきろうマラソン」では、防火服

に身を包み、のぼりを持って10kmを完走したパワフルな、郷土愛に満ち溢れた団員です。



消防団の広場

埼玉県

「安心・安全・確実・迅速」な消防団を目指して



行田市消防団
団長

山岸 敏秀



行田市は埼玉県の北東部に位置し、南は荒川、北は利根川が流れる水と緑に恵まれた場所にあります。昨年映画化された「のぼうの城」の舞台となり、国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稲荷山古墳をはじめ、日本最大の円墳である丸墓山古墳など、9基の大型古墳が群集する「埼玉古墳群」を有し、埼玉県名発祥の地として知られています。

また、市内には悠久の眠りから目覚め開花した古代蓮など42種類約12万株の蓮の花が咲く「古代蓮の里」、江戸時代の忍藩十万石の城下町を今に伝える「忍城址」のほか、足袋の産地を物語る「足袋蔵」が点在する風情ある街並みなど、豊かな自然と歴史が息づくまちです。

行田市消防団は団長以下260名、6方面隊21分団で構成され、市民の安心・安全のために活動しています。ここで特長的な訓練をご紹介しますと、一つ目は、方面隊訓練の中で、災害現場を想定し消防本部と消防団の現場指揮本部を並列して設置

し連携する訓練や、災害活動時に消防本部が必要とする消防団の役割の確認等を行なっています。このような訓練を定期的に行うことにより、平常時から常備消防と非常備消防の間で「顔の見える関係」を築くことができ、災害時の連携活動がよりスムーズに行えると確信しています。

二つ目は、地元の自動車教習所の協力を得て、各分団の正副機関員等を対象に緊急車両運転技能講習を実施しています。各分団に配置している消防車両を教習所に持込み、座学、危険予測運転（死角からのとび出しへの対応）、隘路通行（S字やクラックの前後進）などを実施することで、安全・確実・迅速に現場到着できるよう訓練しています。

また、この4月から消防団員定数を増やし、女性消防団員を10名任用しました。女性団員の入団で、これまで男性団員だけでは難しかった活動を補い、更にかみ細かな消防団活動を目指します。そして、今後も更に常備消防との連携を深め、防災・減災を担う両輪として邁進いたします。



危険予測運転



危険予測運転



救出救護連携訓練



現場指揮連携訓練



隘路通行

平成25年度 全国統一防火標語

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

8月の日本消防協会関係行事

8月7日（水）～9日（金） 少年消防クラブ交流会（徳島市）

編集後記

7月早々に関東甲信地方まで梅雨明け宣言された途端に、全国各所で夏日、真夏日、猛暑日となり、7月も暑さによる記録が更新されておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。急に暑くなり体調を崩したり、熱中症になってしまうことが懸念されますので、何かをする時には十分に注意しましょう。

さて、6月にもおめでたい出来事がありました。皆さまご存じと思いますが、日本一の山「富士山」が世界文化遺産に登録されました。日本国民にとって大変に喜ばしい出来事であると思います。この事で、今まで以上に観光客や登山者がふえることでしょう。5合目までは車等で行けますが、そこですら普段自分が住んでいる場所とは違う気圧・気候・気温です。登山の際はそれなりの準備が必要です。

夏の到来と共に、全国各地で水の事故や落雷等による事故が数多く報道されています。夏本番となるこれからはもっと注意が必要となります。春から夏に衣替えをするように、災害に対する意識も季節に合わせた衣替えをして、対処法など自分を守る術を再確認しましょう。 (M・K)

お知らせ

この度、(財)日本消防協会ではツイッターを開設いたしました。消防団120年・自治体消防65周年記念大会の公式アカウントです。消防団120年・自治体消防65周年記念大会に関する情報を随時更新いたします。

日本消防協会ツイッター https://twitter.com/NISSHO_JAPAN

購読募集

購読を希望される方は、(財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,388円

(問合せ先) 総務部企画担当 03-3503-1481

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十六巻第七号
平成二十五年七月五日印刷
平成二十五年七月十日発行

編集人 原 正之

発行所 財 日本消防協会

東京都港区虎ノ門二一九一十六

電話 〇三(3503)一四八一(代)

印刷所

東京都文京区湯島三二二一十二

日本印刷株式会社

電話(3833)六九七一(代)

生活協同組合 全日本消防人共済会

「火災共済金は1500倍補償」

B型火災共済

加入口数5口500円から25口2,500円まで
掛金25口2,500円で最高375万円の共済金

C型火災共済

加入口数最高200口20,000円まで
最高限度額掛金200口20,000円で最高3,000万の共済金
※共済への加入にあたり、組合員となっていたためのお出資金が別途必要となります。



共済金のお支払い対象 B型・C型共通

火災共済金：火災、落雷、爆破・破裂

風水害等共済金：風災、水災、雪災、車両飛び込み、航空機墜落

所在地 東京都港区虎ノ門2-9-16
日本消防会館6階

連絡先 TEL 03-3503-1439

FAX 03-3503-1480

E-Mail: kyousaikai@nissho.or.jp

URL: <http://www.nissho.or.jp>

消防個人年金

－ 将来の自分の為の積立年金制度です －

消防個人年金は、消防団員・消防職員の皆さまの老後の安定と福祉の向上を図るために、(財)日本消防協会が、第一生命保険株式会社と締結している拠出型企業年金です。



65歳まで積み立て可能な、公的年金の補完ができる制度です。

消防団の退団後・消防職の退職後も継続できます。

消防個人年金の説明に担当者がお伺いします。都道府県消防協会を通じてお申し込みください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。